

6 年	単元名	社会科 「世界の未来と日本の役割」	4 時間
単元の目標	世界の様々な問題解決のために、世界の国々や日本人の人たちが様々な取り組みをしていることを理解し、アメリカと日本の二つの国をまたいで生活している自分たちとしては、世界中の人々が幸せに暮らせる『未来』を作るために、自分には何ができるか、どんな生き方をしたいか、自分の考えをもつことができる。		
日本語の目標	【語彙】教科書の重要語句：国際協力・国際連合・ODA・NGO・青年海外協力隊・ユニセフ・ユネスコ 【文例】・自分が一番興味を持ったのは、～（具体的な取り組みや課題）～についてです。～を解決するために、自分には～が出来ると思います。（～をしてみたいと思います。） ・〇〇さんのお話を聞いて、～について深く考えさせられました。 ・〇〇さんの～のお話を聞き、自分の～な部分に気づくことが出来ました。 ・～を知り、それまでの自分の～という考え方が～に変わりました。 ・それまでは～だと思っていたことが、～だという考え方に変わりました。 ・これから、～を努力し続ければ、将来～することが可能だと目標を持つことが出来ました。 他		
学習課題	・世界の様々な問題解決に向け、世界の国々や日本人の人たちが、どのような取り組みをしているかについて意欲的に調べ、将来、自分達に何ができるかを考える。 ・未来のグローバル人材としての自覚をもち、「自分を生かした、これからの生き方」について考える。		
主な学習活動	・ゲストスピーカー（「草の根」活動の従事者・元海外青年協力隊員・ダラス補習校卒業生）の話を聞く。 ＊海外青年協力隊や「草の根」活動など、日本人々による国際協力活動の取り組みについて理解を深める。 ＊補習校卒業生の体験談を聞き、自分の『強み』や『可能性』に気づく。 ・「自分の『強み』や『可能性』を生かした、これからの生き方」について 400～600 字の文章にまとめる。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
0	家庭学習課題	・NHK 社会にドキリ「世界の国々と日本の国際協力」を視聴し、「国連」「ODA,NGO」「ユニセフ」「ユネスコ」等について、概要を理解する。	【反転授業】 ◎視覚教材の活用 授業シート#1 の質問に答える
1	つかむ ・学習の流れと単元全体の目標を理解する。	＜めあて＞ズバリ！国際協力とはなにかを理解する。 ①写真を見ながら、だれがどこで何をしているか？考える。 【写真】島国ツバルの外相が「海の中」で危機を訴える。 ②本時のめあての確認 ③反転授業で行った授業シート#1「まずは授業の準備！」の答え合わせを行いながら、教科書の資料や本文を参考にし、以下の内容を理解する。 ・世界にある様々な問題や課題 ・国際連合について（ユニセフ・ユネスコ・日本の関わり方） ・日本の国際協力（ODA=政府開発援助・NGO=非政府開発援助） ④発展途上国と日本の繋がりを理解した上で、国際協力は何かをまとめる。 ⑤宿題の説明：「国際協力の活動」調べ	＊授業シート#1 を使用 ①ニュース動画（1 分）を使用 ④JICA サイト「つながる世界と日本」を活用 ⑤Padlet を使用
	家庭学習課題	・「国際協力の活動」にはどのようなものがあるか、教科書・資料集・ウェブサイト・家族との会話等から探し、Padlet へ入力する。（自分の情報をクラス全体へ共有）	＊ Padlet を使用 ＜参考サイト＞ キッズ外務省・国連 KID など複数サイトを紹介
2	ふかめる#1 ・ゲストスピーカーの方の話を聞き、自分自身について考える。	＜めあて＞日本人々は、どのような国際協力の活動をしているのかを理解する。 ①前時の復習 ②写真を見ながら、だれがどこで何をしているか？考える。 【写真】海外で国際協力活動をする日本人 ③本時のめあての確認。 ④元協力隊員の話聞く。（ジンバブエの中高で音楽教師） →現地の子ども達に行った支援の内容や現地の生活について聞き、協力隊員の活動について知る。 ⑤ゲストスピーカー（タンザニアで「草の根」活動中）の方の話を聞く。 →「草の根」活動の目的や内容を知る。 ケニアやタンザニアの様子を聞き、現地の様子を知る。 ⑤まとめ ・次時の予告： 「自分に何が出来るか、どんな生き方をしたいか」を深く考えるために、まずは「自分について考える」活動を行う。	＊授業シート#2 を使用 ②PP 資料を使用 ④元協力隊員⇒授業者の佐藤 ⑤Zoom でタンザニアと繋ぐ ※質疑応答の時間も設ける。

	家庭学習課題	・次週のために、NHK「そもそも自分らしさってなに？」を視聴し、「自分らしさ」について考えてくることを知らせる。	【反転授業】 ◎視覚教材の活用 授業シート#3の質問に答える *授業シート#3使用
3	ふかめる#2 ・ゲストスピーカーの方の話を聞き、自分自身について考える。	くめあて> 自分はどんな『強み』や『可能性』をもっているのか、大発見をしよう！ ①前時の復習 ②①反転授業で行った授業シート#2「まずは授業の準備！」の答え合わせをする。 ③本時のめあての確認。 ④ゲストスピーカー（ダラス補習校卒業生）の方の話を聞く。 →日英の二言語を使いこなし、日本とアメリカの両方の文化をまたいで生活していることが、将来の選択肢を増やすことに繋がる。（補習校生=ボーダーレスな人材≠〇〇人） フィッシュボーン図に、自分の『強み』（長所）を書き出し、自分について見つめ直す。 ⑥まとめ ・今まで意識していなかった自分の『強み』や『可能性』に気づけたことを確認する。 ・次時の予告：国際協力活動や自分自身について考えたことについて、意見交流会を行う。	③Zoomでオーストリアと繋ぐ ※質疑応答の時間も設ける。 <感じ取って貰いたい事柄> ・バイリンガルの強み ・バイカルチャーの強み ・現地校での経験の強み - リーダーシップ性 - 多様性 ・補習校の意義 - 人とのつながり - 自分のルーツ など。
	家庭学習課題	・2週に渡るゲストスピーチを聞いて、感じたり考えたりしたことをまとめる。➡次週の意見交流会に備える。	*「意見交流会 準備シート」を使用 *「自分の考えをまとめる時のキーワード一覧」シートも配布
4	まとめる ・自分の考えをまとめて、文章に書く。	くめあて> 未来を創る！意見交流会をしよう。 “世界中の人々が幸せに暮らせる『未来』をつくるために、自分には何ができるか、どんな生き方をしたいか” ①それまでの学習の復習 ・世界には様々な問題や課題がある。 ⇒自分達が住んでいる外の世界に目を向けることの大切さ ・様々な国際協力の活動がある。 ⇒「自分には何ができるか？」と考えることの大切さ ・自分の『強み』と『可能性』を意識する。 ⇒自分を生かした「これからの生き方」につなげる。 ②意見交流会の進め方を知る。 ③グループ交流 1) 自分の考えや感想をグループ内で発表し合う。 2) お互いに質問をしたり、感想を述べ合う。 3) これからの自分の生き方について、考えを発表し合う。 ④クラス全体交流 1) グループ交流の内容を発表し合う。 2) グループ活動を通して感じたことを全体で交流する。 ・自分と同じ考えだと思ったこと ・自分だけでは考えつかなかったこと ・これからもっと深く考えてみたいと思ったこと など。 ⑤ここまでの授業をふり振り返り、自分の考えや思いが変化したことについて考える。 ⑥自分の考えを文章にまとめる方法について理解する。	*授業シート#4使用 ①授業シート#1~3、意見交流会準備シートを使用 ②友達の発表を聞き、さらに深くきっかけとする。 ※付箋とポスターボード ポイント！ お互いの意見を交流し合って、考える力を高め合える交流会を目指す。
	家庭学習課題	・自分の考えを400~600字程度の文章にまとめる。 テーマ自分の『強み』や『可能性』を生かしながら、 “世界中の人々が幸せに暮らせる『未来』をつくるために、これから生きる自分には何ができるか、どんな生き方をしたいか” ・ルブリック（Google フォーム）で、単元のふり返しを行う。	*Google ドキュメントへ入力するので、随時添削が可能。

*教材の適正の工夫：図、写真、映像等の視覚教材を活用する。

⇒ 日本語力の低い子ども達は、「読む力」よりも「聞く」力の方が高い。

*学習形態の工夫：様々な学習形態を組み合わせることで子ども達の活動量を増やすと共に、思考のうねりを創り出す。

⇒ 一人調べ（家でじっくりと取り組む・英語で調べ学習をしても良い）

グループ学習（自分の得意な分野で補い合う：日本語が得意、発信することが得意等）

全体学習（クラス全体でダイナミックな思考の動きを生み出す）

*活動の形態の工夫：教科書や資料集で学ぶ他に、「実際に体験する」ことも取り入れる。

⇒ ゲストスピーカーの話を聞く。